

2018年3月12日 テレビ朝日「報道ステーション」の報告です。

今回の放送で一番時間を割いた話題は「財務省文書書き換え」についての話題でした。

今回はこの話題について検証していきます。

詳しく見ていきましょう。

富川アナ「森友学園への国有地売却に関して今日、財務省が調査結果を報告しました。で、これによりますと合わせて14の文書について書き換えられていたと認めたわけなんですね。これを受けまして、安倍総理大臣、麻生財務大臣が陳謝しました。で、この中身見てみますと、14の文書とは言っていますが、ものすごい数書き換えられていたことがわかったんですね。しかも安倍昭恵夫人や政治家らの名前が消えていたこともわかりました。これはもはや書き換えではなく改ざんですよ。では誰が何のために改ざんをしたのか。そしてそこには何かしらの忖度が働いていたのか。もしくは誰かからの指示があったのか」

冒頭、富川アナが当日に発表された、森友学園への国有地売却を巡る公文書書き換え問題に関する財務省の報告書を紹介。その問題を受けて安倍総理と麻生財務大臣が陳謝したことや、書き換えを「改ざん」と断定した上でそれを行った理由と忖度の有無について触れて番組がスタートしました。

午後7時官邸前のデモの様子をVTRで放映。

デモの声「嘘をつくな。責任とれよ。佐川じゃなくて麻生が辞めろ。」

ナレーター「290か所にも及ぶ改ざんが明らかに。総理夫人、昭恵さんの名前も削除されていました。」

麻生大臣の記者会見に場面が変わり

記者「隠ぺいではないということか？」

麻生財務大臣「当然です。」

このやり取りを最後にCMが入りました。

↓

CM明け、当日の正午に自民党本部で財務省からの報告を受けた二階幹事長を大勢のカメラが囲む様子を放映。

記者「特段のコメントはありません。財務省から説明を受けた二階幹事長はコメントをすることなく、このエレベーターに乗り込みました。」

ナレーター「まるでハチの巣をつついたのかのような騒ぎ。原因はこの5時間ほど前。」

↓

場面は当日午前7時の財務省の様子に切り替わり

記者「今財務省から資料と思われる段ボールの箱が職員によって運び出されていきます。」
ナレーター「今日になって一転、調査結果を出した財務省。森友学園の国有地取引を巡る決裁文書に書き換えがあったことを認めました。」

↓

再び麻生財務大臣の記者会見に戻り

麻生財務大臣「昨年の2月下旬から4月にかけて本省理財局において、森友事案に関する複数14件の決裁文書の書き換えが行われていた。」

記者「一連の報道がなされて問題が起きてから書き換えが行われた？」

麻生財務大臣「いやそういう認識ではありませんね。2月下旬佐川との答弁の間に決裁文書との齟齬があったと。間違いがあった。そうではないかと誤解を招くということで、佐川の答弁にあわせて書き換えたというのが事実だと思います。」

ナレーター「書き換える理由は、佐川氏の国会答弁と文書に齟齬が起きたためのつじつま合わせ、と言いますが中身は書き換えではなくもはや改ざんです。」

↓

続いて当日午後5時ごろの安倍総理大臣の会見に場面が切り替わり

安倍総理「行政全体の信頼を揺るがしかねない事態であり、行政の長として責任を痛感しております。国民の皆様には深くお詫びを申し上げます。」

「麻生財務大臣にはその責任を果たしてもらいたいと思います。そのうえですべてが明らかになった段階で、二度とこうしたことが起きることが無いように信頼の回復に向けて組織を立て直していくために全力を挙げて取り組んでもらいたいと考えています。」

ナレーター「財務省の出した調査結果は78ページに及びます。改ざん前の文書が左、改ざん後の文書が右。違う部分には下線が引かれています。例えば、売却に関する決裁文書。まずは改ざん後を見えます。」

ナレーターによって、学園から早期に本件土地を買受けたいとの申し出があり、売却申請書の提出があったことから という文章が

学園から早期に本件土地を買受けたいとの要請を受けて、価格等について協議した結果、学園が買い受けることで合意したため、

に書き換えられたことが紹介され、

結果、学園側から価格交渉の要請と、それに伴う価格の協議がおこなわれていたことがわかると説明されました。

ナレーター「また言葉だけではありません。貸し付けに関する決裁文書では報道されていた通り、本件の特殊性、特例的な内容が消えていました。さらに、項目ごと消えてしまった文書もありました。改ざん前は貸し付け契約までの経緯として37行に渡って説明がなされています。ところが改ざん後はその項目がまるまる消滅。1ページ以上が削除された形です。」

「改ざんは 14 の決裁文書で行われていました。14 の改ざん文書の中で違うことを示す下線は番組で確認したところ、290 か所に上っています。」

↓

再び麻生財務大臣の会見に移り

記者「佐川氏の判断で書き換え？」

麻生財務大臣「佐川の判断の前の段階だと思いますね。今調査が全部終わってるわけじゃありませんから何とも言えませんけど。いずれにしても書き換えが当時の理財局の一部の職員によって行われたので、最終責任者が理財局局长(当時)である佐川ということになるんだと思う。」

ナレーター「改ざんをしたのは財務省理財局の一部の職員だとした麻生財務大臣。職員が上司の佐川氏を忖度したということでしょうか。ただ、調査結果には政治家の名前も出ていません。鴻池元防災担当大臣、平沼元経産大臣、北川元国土交通副大臣、そして亡くなった鳩山元総務大臣など。そして安倍総理夫人の昭恵さんの名前もあります。名前が出てくるのは改ざん前、これまでの経緯、とある文書。」

ナレーター「籠池前理事長の発言として安倍昭恵総理夫人を現地に案内し、夫人からは『いい土地ですから、前に進めてください』とのお言葉を頂いたとの発言あり。」

ナレーター「中には新聞記事の内容まで。」

『安倍首相夫人が森友学園を訪問した際に、学園の教育方針に感涙した旨が記載される。』

「昭恵夫人の名前が出てくるのは 5 か所。ただ改ざん後は昭恵夫人も、政治家の名前も消えていました。」

↓

再び麻生財務大臣の会見へ

記者「書き換えの背景には政治家・政府に関する忖度が働いた？」

麻生財務大臣「考えていません。」

↓

ナレーター「菅官房長官は」

記者「官邸が役人の人事を握りすぎているため、過度な忖度が起こると指摘する声もあるが？」

菅義偉官房長官「そういうことはあり得ないと思います。」

記者「書き換えという認識？それとも改ざんという認識？」

菅官房長官「私は書き換えだと思っています。全体を見させていただいて主文というですかね。ほとんど変わっていなかったと思っています。」

↓

続いて当日の野党合同ヒアリングの様子に場面が切り替わり

ナレーター「そもそも、今回の文書は財務省から出てきました。」

野党議員「そもそもどこから見つかったんですか。」

財務省理財局・富山一成次長「今日お出ししているこれは何かと申しますと、近畿財務局あるいは本省におきまして、当該職員しかわからないほど何回もクリックしなければいけないようなところに個人フォルダーとして保存していたというような一例。」

ナレーター「野党からは」

立憲民主党・辻元清美国対委員長「今回の事案は政府が起こした前代未聞の大きな政治的事件と言っていいと思います。一年間に渡ってあれだけ森友の問題が、国会だけでなくメディアもそうです。だまし続けられたわけじゃないですか国民が。」

共産党・辰巳孝太郎参院議員「誰が何の目的で何のメリットで、そういうことする必要があるでしょうか。まさにこの書き換え改ざんというのは、その総理の答弁との整合性を図るために書き換えられたのではないか。そういう疑惑がより一層深まったと思います。」

ナレーター「与党からも疑問の声」

自民党・小泉進次郎筆頭副幹事長「何が真実なのか。書き換え自体あり得ないことですが、なぜ書き換えたのか。これはやはり知りたいですよ。何で書き換えたんだろう。自民党っていう組織は政党は、官僚の皆さんだけに責任を押し付けるような政党ではないと。その姿を見せる必要あるんじゃないですか。」

↓

再び麻生財務大臣の会見へ。

ナレーター「そして、監督責任を問われた麻生財務大臣は。」

記者「大臣自身が財務大臣の時に書き換えが行われたという点。監督責任はどう感じているか。」

麻生財務大臣「誠に残念だと思えますし、誠に申し訳ないと思っています。」

記者「野党からは大臣の進退を考えるべきとの発言も。」

麻生財務大臣「私の進退については考えていません。」

ナレーター「辞任を否定。安倍総理に財務省の立て直し、信頼回復に努めるよう指示されました。」

記者「文書の書き換えに政治家が関与していないと断言できるのはなぜですか。」

麻生大臣は無言のまま車の中へ。

↓

続いて、午後7時半の官邸前での抗議デモの様子をVTRで紹介。

デモ参加者が「安倍やめろ」という言葉や「佐川じゃなくて麻生が辞めろ」などの言葉を叫んでいる様子が映し出されました。

↓

一旦カメラはスタジオへと戻り、小川アナが発言します。

小川アナ「改ざんされた財務省の文書からは今お伝えしましたように複数の人物の名前が消されていました。その中には政治家のほか、森友学園の教育方針に賛同していた安倍昭恵夫人の名前も含まれていたわけですがけれども、財務省の職員たちはなぜ、この人たちの名前

を消さなければならなかったのでしょうか。」

↓

去年の2月17日の安倍総理の答弁が紹介され、

安倍総理「妻からですね、この森友学園ですか。の先生ですね、教育に対する熱意は素晴らしいという話を聞いております。ただ私や妻がこの認可、国有地払い下げに事務所も含めて一切関わっていないということは明確にさせていただきたい。」

「いずれにいたしましても繰り返して申し上げますが、私も妻も一切この認可にもあるいは国有との払い下げにも関係ない。なぜそれ(売却額)が当初の値段よりやすくなっているかということは、理財局に聞いてもう少し詳細に詰めていただきたいと思いますし、私に聞かれてもこれは全くわからない。繰り返しになりますが、私や妻が関係していたということになれば、まさに間違いなく総理大臣も国会議員もやめるということははっきりと申し上げておきたい。全く関係ないということは申し上げておきたい。」

ナレーター「この発言が影響を与えたのかどうか。文書の改ざんが始まったのはちょうどこのころ。去年の2月下旬からでした。」

↓

昨年2月24日の佐川氏の答弁を紹介し

財務省・佐川宣寿理財局長(当時)「近畿財務局と森友学園の交渉記録というのはございませんでした。」

「面会等の記録については廃棄している。」

ナレーター「答弁を一手に引き受けた佐川氏。なぜ8億円も値引きされたのか問われ」

佐川氏「予定価格とか賃料とか、そういったものを先方に提示することはございません。」

「先方からいくらで買いたいといった希望があったこともございません。」

ナレーター「交渉記録は無い。事前に価格交渉はしていないと繰り返し答弁していました。

しかし、元の文書から交渉記録ともいえる、森友側とのやり取りがごっそり削られていたほか、価格提示についてという項目も削除されていました。」

「また、本来あった、『本省担当課から承認の内諾を得ている。』および本省といった言葉も消されていました。財務省本省の関与を薄めたかったということなのではないでしょうか。」

↓

続いて昨年3月の森友学園籠池泰典前理事長の証人喚問の様態を放映。

籠池前理事長「事実は小説よりも奇なりであります。」

ナレーター「証人喚問され、森友学園と昭恵夫人との関係が問われた当時の籠池理事長。」

共産党・宮本岳志衆院議員「財務省は前向きに動いていると。どういう力がそこに働いたとお感じになりますか。」

籠池前理事長「神風が吹いたかなと。何らかの見えない力が動いたのではないかと。」

ナレーター「改ざん前の文書には籠池氏が昭恵夫人の名前を出して迫り、近畿財務局が協力姿勢を見せる過程が書かれていましたが、これも削られていました。」

続いて、ナレーターが改ざん前の文書で昭恵夫人の名前が 5 か所出てくることを再び紹介した後、「籠池前理事長の発言として安倍昭恵総理夫人を現地に案内し、夫人からは『いい土地ですから、前に進めてください』とのお言葉を頂いたとの発言あり。」という言葉が再び放映。その際森友学園側が近畿財務局に見せたという、森友学園建設予定地で籠池前理事長夫妻と安倍昭恵氏が並んで移る写真も併せて紹介しました。

また、安倍昭恵氏が度々学園に足を運んでいたことにも触れ、昭恵氏の講演での発言を放映。安倍昭恵氏「来年にはできれば主人と一緒に来させていただければと思っている。」

また、書き換え前の決裁文書からの引用として

『安倍首相夫人が森友学園を訪問した際に、学園の教育方針に感涙した旨が記載される。』
という文言を再び紹介。

結果として、書き換え後には昭恵氏に関する記述はすべて削除されたことを伝えました。

続いて国会議員の記述について触れました。その際、平沼赳夫衆院議員についての項目を例に挙げ、国会議員についての記述もすべて削除されていることを伝えました。

ナレーター「田畑美登場する政治家と籠池前理事長との関係。財務省はどう見ていたのでしょうか。公開された文書には森友学園についての下りも出てきます。近畿財務局が注目したのは籠池前理事長の肩書でした。」

このナレーターの発言を最後に、いったんCMが入ります。

↓

CM明け、籠池前理事長についての改ざん前の決裁文書の記述について触れ

ナレーター「籠池康博氏は日本会議大阪代表・運営委員を始めとする諸団体に関与している。」

ナレーター「日本会議の事務総局によりますと籠池前理事長が大阪代表だったことはなく、この時すでに運営員は退いていました。その日本会議は憲法改正などを目指す保守系の団体です。」

ナレーター「なお、国会においては日本会議と連携する組織として超党派による『日本会議国会議員懇談会』が平成 9 年 5 月に設立され、現在役員には特別顧問として麻生太郎財務大臣、会長に平沼赳夫議員、副会長に安倍晋三総理らが就任。」

ナレーター「特別顧問、会長、副会長にそうそうたる名前が並んでいます。さらに同じ文書にこれまで森友学園を訪れた政治家の名前も列挙されていました。しかし、この部分もすべて削除されていました。」

続いて、同じく削除されていた鴻池元防災担当大臣の秘書から近畿財務局への問い合わせの記述について触れ

去年 3 月 1 日の鴻池元防災担当大臣の会見の様子を放映。

記者「要望を受けて財務省なり国交省なりと何か交渉や仲介をしたことは？」

鴻池元防災担当大臣「誰が。一回もない。」

記者「あったことは？」

鴻池元防災担当大臣「ない。財務省なんて全然知らん。」

また、鳩山邦夫元総務大臣や北川イッセイ元国交副大臣についての記述も併せて削除されていたことも伝えられました。

↓

続いて公文書管理についての専門家へのインタビューを放映。

三宅弘弁護士「公文書管理は民主主義の基盤ですから、管理された文書の中身を変えるのは(民主主義の)基盤が揺らいでいる。まさに異常事態です。」

「政府の文書を国民は理解をして国会議員を選出する。(今回は)こういう改ざんがあったと。その過程で選挙までやっているのですから。国民は果たして現在の政権に正しい信託をしたのか問われかねない。」

この三宅氏の発言を最後にカメラはスタジオへと戻ります。

富川アナ「書き換えられた場所、改ざんされた場所には下線が引かれているんですけどもこの下線が引かれた場所を番組で数えてみたら 290 か所もあったと。これはちょっと書き換えられたというレベルではないですよ。」

後藤謙次氏「そうですね。今回この量においても、それから中身においてもやはり書き換えというのにはかけ離れてますよね。やはり改ざんと言わざるを得ない。改ざんということは悪意に満ちた書き換えですから当然そこにはですね、改ざんのための動機が必要なんですよ。なぜそれを改ざんしたのか。その動機に部分が先週からの麻生副総理の記者会見、それから今日お二人、安倍総理と麻生副総理もインタビューに応じてますけれども、その中でも一向に伝わってこないんですね。」

「麻生副総理の説明によれば今回は佐川さんの答弁と決裁文書に齟齬が生まれたと。そこを埋めるために書き換えたんだと。こういう趣旨なんですけど、もともとなぜ佐川さんが決裁文書と違う答弁をしたのかと。そこに行かないとですね。今回の本質は分からないと思うんですね。」

富川アナ「そうですね。誰かの指示があったのかということになりますよね。」

後藤謙次氏「そこで大きなきっかけとなったといわれるのが今日のVTRにもありましたけれども去年の2月17日の予算委員会での安倍総理の答弁ですよ。自分や妻が関わっていたとしたら総理大臣も国会議員もやめると。この自らの進退をかける発言をしたと。これが色々な面でハレーションを引き起こしたということは想像に難くないですよ。」

「今回の佐川さんの問題。私はこれで非常に思うのはですね。財務省の官僚というのは官僚中の官僚と言われてるわけですね。最も文書、ルール、あるいは法律そういうものに厳格だといわれていた人たちが果たして麻生副総理が言うようにですね、理財局の一部が主導してやったとはとても思えないですね。」

富川アナ「そうですね。官僚たちが自分たちの判断で書き換えた、改ざんしたとは思えない

んですけれども。でも何はともあれね、改ざんされた文書で 1 年間国会での議論が続けられていたわけですから、これは国民にとってもね。だまされたということになりますよね。」
小川アナ「そうですね。深刻な政治不信につながりますよね。ずっと森友学園については平行線が続いていたわけで、ここで動いたからには本当に徹底的に調査していただきたいですよね。」

富川アナ「そうですね。なんか他の議論も信頼していいのかという気持ちになってきますよね。」

後藤氏「そうですね。国権の最高機関である国会が偽物の文書をつかまされたってことから与野党を超えてですね、国会議員が怒らなければいけないんですね。あのかつてリクルート事件やロッキード事件などありましたけれども、いずれも調査特別委員会を国会に作ってですね、そこで徹底的に解明してるんですね。ぜひ今回もそれを作ってもらいたいと思いますね。」

富川アナ「検察もですね、なぜ書かれていたものが消えてしまったのだとか、誰かの指示があったのかということも当然捜査していくと話していました。」

今回の放送の問題点は大きく分けて 3 点あります。

- 1 点目は画像や音声などを利用した印象操作の疑いが濃厚であること。
 - 2 点目は V T R の構成が不自然であること。
 - 3 点目は書き換えの原因を確固とした理由もないままに論じていること。
- 以上の 3 点です。

1 点目についてですが、冒頭で富川アナが前振りをする際に後ろに掲げられたのは、安倍総理大臣と麻生財務大臣が記者会見を開いている時の顔を大きく写した写真でした。安倍総理にいたってはとても暗い表情で下を向く姿が捉えられており、視聴者に「安倍総理と麻生さんはこの問題に関わっているのかもしれない。」という印象を与えるには十分すぎるものです。また、麻生財務大臣が記者会見を終えた後に無言で車に乗る姿を V T R で放映した際も、記者の質問に答えなかったような印象を与えるような編集をしていました。今回の番組での印象操作は度を過ぎたものであるといわざるを得ません。放送法第 4 条第 2 項「政治的に公平であること。」という項目に違反しているといえます。

次に 2 点目です。今回の放送では同じ事柄を繰り返して放送する箇所が目立ちました。具体的には、「財務省の決裁文書の中で安倍昭恵夫人の名前が含まれていた箇所が全て削除されていたこと」、「政治家 4 人(鴻池元防災担当大臣、平沼元経産大臣、北川元国土交通副大臣、そして亡くなった鳩山元総務大臣)の名前が同じく決裁文書の中から削除されていたこと」の 2 点が挙げられます。

確かに視聴者の論点整理のためとして、同じ内容のVTRを2度流すということ自体は理解できないわけではありません。しかし、名前が削除された人々がどのように国有地の売却に関与したのか判明していない中でこのような編集をすると、「彼らは国有地の売却に関わったのではないか？」という視聴者の誤解を招きかねないこととなります。

事実は「事実」、疑惑は「疑惑」として、視聴者に明確に伝わるような編集をするべきではなかったのでしょうか？

最後に3点目です。まず、富川アナは今回の文書書き換えについて、書き換えた場所が非常に多いことを理由に挙げて「改ざん」という言葉に置き換えていました。後藤氏も今回の書き換えについて「悪意ある書き換え」という言葉を使って「改ざん」という言葉へと言い換えていました。両者に共通することですが、なぜ「改ざん」という言葉を使うのかということの理由が明確ではありません。特に後藤氏は「量だけではなく内容の面でも」という話をしていますが、どの部分がどう問題なのか、という説明が後藤氏の口から直接言及されることはありませんでした。

また、この後富川アナはスタジオでのやり取りの中で「誰かの指示があったのかということになりますよね。」という発言をしました。

直後に後藤氏は「財務省の官僚というのは官僚中の官僚と言われてるわけですね。最も文書、ルール、あるいは法律そういうものに厳格だと言われていた人たちが果たして麻生副総理が言うようにですね、理財局の一部が主導してやったとはとても思えない。」と発言。富川アナも「官僚たちが自分たちの判断で書き換えた、改ざんしたとは思えないんですけれども。」と発言しました。しかし、彼らがその後の番組の中で「財務省の官僚がするはずがない」という判断の根拠を示すことはなく、「他に指示があった」という発言の根拠も示ませんでした。

根拠がなく、視聴者が誤解する可能性がある発言をすることは放送法第4条第3項「報道は事実をまげないですること。」という部分に抵触しているように感じます。

今回の放送は偏向報道や事実誤認、印象操作が強く疑われるものでありました。報道ステーションには番組内容の大きな改善が求められます。今後も監視を続けていきます。